

令和7年度がスタート Mナビ新聞 旬の話題や短時間で利用できる情報を毎号掲載します

総合教育センター情報教育班では、令和4年3月から「Mナビ新聞—情報教育通信—」として、教育の情報化に関する情報提供を行ってきました。令和7年度も、毎月1回情報教育に関する情報発信を継続していきます。

また、職員会議等の時間を利用した職員の研修や個別での研修に役立つ内容を紹介していきますので、ご活用ください。

年度始めは、Mナビ新聞で校内研修!! 情報セキュリティ意識を高めよう!

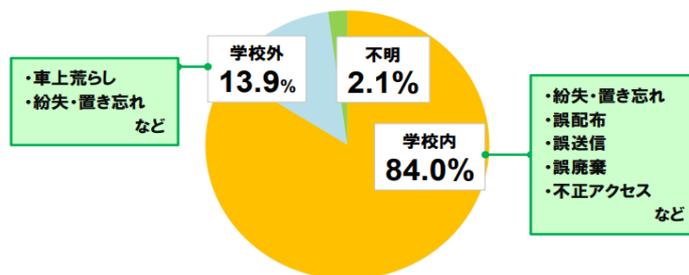
いよいよ新年度がスタートしました。年度始めの慌ただしい時期は、情報漏えい事故が多く発生しています。事故が発生しやすい時期や媒体、原因を把握した上で、効果的な対策を取りましょう。

情報セキュリティ事故は慣れによって発生します。情報セキュリティのABCを心掛け、個人情報漏えい事故をなくしましょう。

- A あたりまえのことを
- B バカにしないで
- C ちゃんとやりましょう

令和5年度 発生場所別 事故発生比率

◆ 情報漏えい事故は、学校内でも学校外でも発生しています。



出典：教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会

学校内と学校外、両方の対策を講じる必要があります。

令和5年度の情報漏洩事故は、年度始めの4月、行事が重なる10月に事故が多く発生していました。事故の種類は「紛失・置き忘れ」「誤公開」「誤送信」で、全体の約80%を占めました。漏えい経路・媒体の大半は「書類」「インターネットサービス・アプリ」で、全体の約70%を占めました。

教職員の皆さんで情報セキュリティチェックを行っていきましょう。(答えは裏面)

- Q1 個人情報漏えい事故(令和5年度)の種類別発生比率が最も高いものは何でしょう?
① 紛失・置き忘れ ② 誤公開 ③ 誤送信 ④ 誤配布
- Q2 個人情報漏えい事故(令和5年度)の経路・媒体別発生比率が最も高いのは何でしょう?
① 書類 ② 電子メール ③ USBメモリ
- Q3 WindowsPCの電源を切らずに自分の座席を離れる時にPCの画面をロックするためのショートカットキーは?
① Ctrlボタン+Sボタン ② Windowsボタン+Lボタン ③ Altボタン+F4ボタン
- Q4 学校からPTAの役員全員にメールを一斉送信する際の観点として、正しいものはどれでしょう?
① TOに役員全員のアドレスを入れると、一度に送信することができて便利である。
② TOには会長副会長、その他の役員はCCに入れるのがビジネスでは一般的である。
③ TOには自分のアドレスを入れ、役員のアドレスはBCCに入れて送るのが良い。
④ TOとCC、BCCには、それぞれ上限数があるため、役員を3グループに分けて記入すると一度に送れて良い。

**必見！
申請募集中です。**

**令和7年度 教育DX推進訪問支援研修会
ICT活用の課題をセンター指導主事と共に解決しませんか！**

今年度、宮城県総合教育センターでは、学校や教育委員会が直面している授業や校務でのICT活用の課題について支援を行うことで、学校の教育DXの推進を図ることを目的とした訪問支援型の研修会を新たに実施します。研修会の概要は以下のとおりです。

学校単位での訪問支援研修会

学校が直面している授業や校務でのICT活用の課題について、センター指導主事が複数回の訪問を行い、学校と共に解決していく訪問支援型の研修会です。

期間は長期休業中を含む、令和7年5月から令和8年1月までの2～3回を予定しています。

教育委員会単位での訪問支援研修会

2年間(令和7～8年度)にわたり、教育委員会が直面している授業や校務でのICT活用の課題について、センター指導主事が複数回の訪問を行い、教育委員会及び学校と共に解決していく訪問支援型の研修会です。

期間は、長期休業中を含む令和7年5月から令和8年1月と令和8年5月から～令和9年1月までの年間3～4回を予定しています。

本研修では、センター指導主事が講義・演習等を一方的に行うものではなく、情報化推進リーダー等の担当者と共に、学校や教育委員会単位で、組織としての課題解決に向けた研修会等に取り組むことを支援するものです。ぜひ、申請いただき、この機会を有効に活用していただきますようお知らせいたします。

なお、申請の締め切りは、**令和7年4月17日**です。

申請方法等、詳細につきましては、令和7年3月11日付け宮総教第260号にて、県立学校には直接、市町村立学校には市町村教育委員会経由で通知しております。

情報セキュリティチェックの答え

- Q1 ① 「紛失・置き忘れ」が48.9%、「誤公開」が16.5%、「誤送信」が14.3%、「誤配布」が6.9%です。USBメモリをポケットに入れたまま帰宅していませんか？「うっかり」では済まされない場合があることを認識しましょう。
- Q2 ① 「書類」が48.1%、「電子メール」が13.0%、「USBメモリ」が8.2%です。書類による情報の漏洩が全体の半数を占めています。個人情報紙媒体で保管する場合は、改めて必要性を考えましょう。
- Q3 ② パソコンを起動したまま席を離れるときは、必ずロック画面に切り替えるとともに、机上整理に気を配ることも大切です。例えば、職員室に児童生徒が入室してくる場面を想定してみてください。ハッとする場面があり得ますよね。
- Q4 ③ TOやCCに記載したメールアドレスは、受信者全員が互いにメールアドレスを見ることができると、プライバシーに配慮が必要です。複数の宛先や学校外に一斉送信を行う場合は、TOには自分のアドレスを入れ、受信者のアドレスはBCCに入れて送ります。BCCに追加された受信者のメールアドレスは他の受信者には見えません。これにより、受信者のプライバシーを守ることができます。

令和7年3月に、文部科学省から「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」が公表されました。市町村や校内の情報管理規定についても職員会議等で話題にし、改めて共通理解を図り、新年度をスタートさせていきましょう。

(編集後記) 新年度、各校の職員室では新しいメンバーを迎え、気持ちを新たに、児童生徒を迎える準備を進めているところですね。今年度のMナビ新聞では、ICT活用を中心に旬の話題や短時間で利用できる研修のヒントを掲載していきます。ぜひ、次号も各校でご活用ください。 [担当:大泉]